
別冊 アンケート調査票

芦屋市 障がい福祉に関するアンケート調査への ご協力をお願い

皆様には日ごろから障がい福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。
今回、障がいのある人のより良い暮らしのため、アンケート調査を実施します。市民の
皆様の障がい福祉に関する意識、意向などを把握し、「(仮称)芦屋市障がい者(児)福祉
計画第8次中期計画および芦屋市第8期障がい福祉計画・芦屋市第4期障がい児福祉
計画」の策定や施策の推進に役立てていきたいと考えています。調査の趣旨をご理解い
ただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。(結果は後日ホームページで公表
予定です)

なお、この調査の対象者は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を
お持ちの方から無作為に(くじ引きのような方法で)選ばせていただきました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の
回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は、すべて統計的な処理を行い、計画策定および施策
推進のための基礎資料としてのみ使用いたします。個別の回答内容を公表することや別
の目的で回答内容を使うことは一切ありません。

令和8年1月 芦屋市

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

芦屋市 子ども福祉部 福祉室 障がい福祉課

電話 0797-38-2043(直通)

FAX 0797-38-2160

メールアドレス:syougaifukushi@city.ashiya.lg.jp

※今回の調査は、株式会社日本都市計画研究所に事務などを委託しています。

(ウラ面に「回答・ご提出のお願い」を書いていますので見てください)



かいとう ていしゆつ ねが 回答・ご提出のお願い

◆この調査票には、あなた(宛名のご本人)の事を答えてください。(宛名のご本人が障がいや病気などの理由で回答できない場合は、ご家族や介助者の方などがご本人の立場でご回答ください)

◆「インターネット」か「紙」か、どちらかで答えてください。

■ 「紙」(この封筒に入っている調査票)で答える

- ✓ あなたの名前を書かなくて構いません。
- ✓ 質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ✓ 記入欄には、具体的にその内容を書いてください。
- ✓ 答えたくないことには無理に答えずともかまいません。
- ✓ この封筒に入っている「返信用の封筒」で送ってください。

■ 「インターネット」で答える

- ✓ 右の二次元コードを読み取ってください。
回答用のページにつながります。



- ✓ 二次元コードが読み取れない場合は、以下のURLを入力してください。回答用のページにつながります。

URL : <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/ashiyashougai/over18/>

- ✓ 回答用のページにつながったら、最初に、このIDとパスワードを入力してください。

貼り付け箇所

※インターネットが使えるスマートフォン・パソコン・タブレット端末などからアクセスできます。

※アクセスは無料ですが、データ通信料が別途かかりますのでご注意ください。

※通信環境の良いところでご回答ください。

◆回答で困ったことがあれば、オモテ面の連絡先(戸屋市 障がい福祉課)までご連絡ください。

◆IDは無作為に(くじ引きのような方法で)決めています。IDはインターネットと紙での回答のどちらか一方になっているかを確認するためのものです。IDではあなたが誰かはわかりません。

れいわ ねん がつ にち か
令和8年2月3日(火)までに、アンケートに回答してください。

あしやし しょう ふくし かん ちようさ 芦屋市 障がい福祉に関するアンケート調査

※これ以降、この調査票が送られた宛名のご本人を「あなた」と呼びます。

あなた(宛名のご本人)の状況などについて、教えてください。

※可能な範囲で回答してください。

問1 アンケートに答えるのはだれですか。(○は1つだけ)

- あなた(本人)が一人で回答
- あなた(本人)が他の人の協力を得て回答
- あなた(本人)が回答できないので、家族が代わって回答
- あなた(本人)が回答できないので、家族以外の方が代わって回答
- その他()

1. あなたご自身のことについて

問2 あなた自身が思う性別を書いてください。(○は1つだけ)

- 男性
- 女性
- その他
- 答えたくない

問3 現在のあなたの年齢を書いてください。(数字を記入)

満

歳 ※令和8年1月1日現在

問4 あなたが持っている「障がい者手帳」についてお答えください。

① あなたは、身体障害者手帳を持っていますか。(○は1つだけ)

- 1級を持っている
- 2級を持っている
- 3級を持っている
- 4級を持っている
- 5級を持っている
- 6級を持っている
7. 持っていない

→ 問4③へ

↓ 問4②へ

②

身体障害者手帳を持っている場合、障がいの内容をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚障がい
2. 聴覚障がい、平衡機能障がい
3. 音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい
4. 肢体不自由
5. 内部障がい (1～4以外の障がい)

③

あなたは、療育手帳を持っていますか。(○は1つだけ)

1. A (重度) を持っている
2. B1 (中度) を持っている
3. B2 (軽度) を持っている
4. 持っていない

④

あなたは、精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。(○は1つだけ)

1. 1級を持っている
2. 2級を持っている
3. 3級を持っている
4. 持っていない

問5

あなたは、次のような障がいの診断などを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自立支援医療 (精神通院医療) を受給している
2. 発達障がい (自閉スペクトラム症 (ASD)、注意欠如・多動症 (ADHD)、学習障がいなど) と診断されている
3. 高次脳機能障がいと診断されている
4. 指定難病と診断されている
5. いずれにもあてはまらない

とい
問6

あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 受けている

2. 受けていない

3. わからない

↓
とい
問7へ

①

問6で1を選んだ方にお聞きします。あなたの要介護認定は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 要支援1

2. 要支援2

3. 要介護1

4. 要介護2

5. 要介護3

6. 要介護4

7. 要介護5

②

あなたは介護保険サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している

2. 利用していない

3. わからない

2. あなたの現在の生活について

とい
問7

あなた自身の収入の中で最も多いものは何ですか。(○は1つだけ)

※家族の方の収入や保護者に支給される手当は含みません。

1. 給料など働いて得たお金

2. 障害年金や特別障害者手当など

3. 障害年金以外の年金(老齢年金・遺族年金など)

4. 生活保護

5. その他()

6. 収入なし

とい
問8

あなたは、今どのように生活していますか。(○は1つだけ)

1. 家族と一緒に生活

2. 一人で生活

3. 共同生活できる施設(グループホームなど)で生活

4. その他()

問9

あなたが以下のことをするとき、だれの支援を受けていますか。
 (それぞれあてはまるものすべてに○)

	自分でできる	家族や親戚	ホームヘルパー	ボランティア	近所の人 友だち・知り合い・ きんじよひと	施設の職員
(例) 食事をするとき	1	2	3	4	5	6
① 食事をするとき (料理、配膳、片づけなどは含みません)	1	2	3	4	5	6
② 薬を飲んだり保管するとき	1	2	3	4	5	6
③ お風呂に入る・トイレを使うとき	1	2	3	4	5	6
④ 着替えをするとき	1	2	3	4	5	6
⑤ 料理・掃除・洗濯をするとき	1	2	3	4	5	6
⑥ 出かけるとき (通院や買い物など)	1	2	3	4	5	6
⑦ 自分の考えを伝えたいとき	1	2	3	4	5	6
⑧ 生活費など、お金の管理をするとき	1	2	3	4	5	6
⑨ 日常の暮らしに必要な手続きをするとき	1	2	3	4	5	6
⑩ 地震や台風など、緊急時に避難・連絡したいとき	1	2	3	4	5	6

問10

あなたはどのような場所で生活してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 家族 (親・兄弟姉妹・子) と一緒に自宅で生活したい (もしくは、生活を続けたい)
2. 家族 (親・兄弟姉妹・子) から離れて一人で生活がしたい (もしくは、生活を続けたい)
3. 専門の職員がいて共同生活ができる施設 (グループホームなど) を利用したい (もしくは、利用し続けたい)
4. 入所施設で生活したい (もしくは、生活を続けたい)
5. その他 ()
6. わからない

→ 問11 へ

→ 問12 へ

問14

あなたが出かけるときに、困ったり、心配になったりすることはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. バスや鉄道などが利用しにくい(路線がない、バスの便が少ない、乗降が難しいなど)
2. バスや鉄道などの乗り方の表示や建物への案内表示がわかりにくい
3. 交通費などの費用負担が大きい
4. 障がいのある人用の駐車場がない、または少ない
5. 歩道に問題が多い(せまい、障がい物が多い、誘導ブロックがないなど)
6. 建物の設備が利用しにくい(階段、トイレなど)
7. 休憩できる場所が少ない(身近な公園や歩道のベンチなど)
8. 介助者の支援がないと外出できない(介助者を頼むと利用料を負担しなければならない)
9. 介助者やヘルパーの確保が難しい(いつでも必要なときに頼むことが出来ない)
10. 周りの人の目が気になる
11. 発作など突然の身体の変化が心配
12. 困った時にどうすればいいのか、だれに聞いたらいいのかわからないので心配
13. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとったりすることが難しい
14. その他 ()
15. 特にない
16. 外出したいと思わない

3. 日中・夕方や休日の過ごし方、仕事などについて

問15

あなたは、平日の日中に主に何をしていますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしている(就労訓練含む)
2. 通所サービス(介護や訓練など)を受ける施設などで生活している、または通っている
3. 大学、専門学校などに通っている
4. 病院に通っている(リハビリ、デイケアなど)
5. 地域活動に参加している
6. 家事などをしている
7. その他 ()
8. 特に何もしていない

1を選んだ方 →問16、17に答えた後、問18へ
 2~8のいずれかを選んだ方 →問16、17に答えた後、問22へ

問16

あなたは、平日の夕方以降や休日（あてはまるものすべてに○）を主に何をしていますか。

1. 買い物に出かける
2. 趣味などのサークル活動に参加している
3. 家や施設で過ごしている
4. 気分転換に散歩や外出をしている
5. 外で遊んだりスポーツをしている
6. 移動支援・日中一時支援事業や地域活動支援センターを利用している
7. 友人や知人と会っている
8. その他（ ）
9. 特に何もしていない

問17

あなたは、平日の夕方以降や休日の過ごし方で希望されていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. サークル活動などで趣味を楽しみたい
2. 通所サービス（介護訓練など）や病院でのリハビリ、デイケアの利用を延長したい
3. 家族が家におらず、一人での時間が多いので、居場所が欲しい
4. 一緒に過ごす友人や知人などの仲間を作れる所で過ごしたい
5. カフェや飲食店、買い物など、街なかのお店で過ごしたい
6. 地域活動や集会で過ごしたい
7. 自宅で過ごしたい
8. その他（ ）
9. 特にない

問18

問15で1（「仕事（就労訓練含む）をしている」）を選んだ方にお聞きします。どのような場所で働いていますか。（○は1つだけ）

1. 一般企業に勤めている
2. 自営業など、事業をしている
3. 特例子会社（※）で働いている
4. 就労継続支援【A型：雇用型】事業所（※）で働いている
5. 就労継続支援【B型：非雇用型】事業所（※）で働いている
6. 就労移行支援事業所（※）など、作業訓練や生産活動により工賃・収入を得て働いている

→ 問19 へ

↑ 問20 へ

※特例子会社…障がいのある人の雇用の促進および安定を図るために、一般企業が障がいのある人の雇用に特別の配慮をして設立した子会社です。

※就労継続支援【A型：雇用型】事業所・就労継続支援【B型：非雇用型】事業所・就労移行支援事業所の内容がよくわからない時は、別紙にサービスの説明を書いていますので、そちらも見てください。

問19

問18で1~4のいずれかを選んだ方にお聞きします。どのような仕事をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 運搬・清掃・包装などの仕事(例: 配達員、ビル清掃、製品梱包作業、倉庫作業、食器洗浄・商品品出し・陳列作業などの軽作業 など)
2. 事務的な仕事
3. サービスの仕事(例: スーパーマーケットなどの販売、看護・介護ヘルパー、調理補助など)
4. 生産工程の仕事(例: 食品・機械部品・衣類などの製造など)
5. 専門的・技術的な仕事(例: 医療技術者、カウンセラー、デザイナー など)
6. 体を動かす仕事(農林漁業・建設・土木・警備の仕事など)
7. その他 ()

①

あなたが最も働く時間の多い仕事は、どのような雇用形態ですか。
(○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 正社員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 契約社員・嘱託 | 4. 派遣社員 |
| 5. その他 () | |

②

1か月の収入(月平均)はどれぐらいですか。複数箇所で働いている場合は合計額を教えてください。※賞与は含まずに教えてください。

約 (万 千円)

③

現在の仕事で特に困っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 通勤や仕事場の移動 | 2. 職場の施設・設備 |
| 3. 職場の障がいに対する理解・配慮 | 4. 仕事内容 |
| 5. 職場の人間関係 | 6. 収入 |
| 7. 職場での意思疎通などのコミュニケーション | |
| 8. その他 () | |
| 9. 特に困っていることはない | |

問23へ

①

問22 で1を選んだ方にお聞きします。一般企業や自営業などの仕事を辞めたのはどのような理由ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 倒産・人員整理など会社の都合
2. 仕事が大変すぎたから
3. 給料が安かったから
4. 能力が生かせなかったから
5. 人間関係がうまくいかなかったから
6. 通勤が負担だったから
7. いじめ、パワハラ、セクハラなどがあったから
8. 病気のために仕事を続けることが難しくなったから
9. 障がいのために仕事を続けることが難しくなったから
10. 家庭の事情
11. 雇用期間の満了
12. 定年退職
13. その他 ()

②

働いていない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 働きたいが、就職先が見つからない(就職活動中)
2. 就労したいが、自分に合った・やりたい仕事が見つからない
3. 障がいや病気で、働くことができない
4. 自分に合った環境が整っていない(障がいを理解してもらえないなど)
5. 職場の建物の構造(入口の段差など)が整備されていない
6. 高齢のため働くことができない
7. 家庭の事情などで、働くことができない(家事、育児や家族の介護など)
8. 一般企業や自営業などでは働きたくない
9. 年金があるので、働かなくてもよいと思う
10. 他に収入・貯金があるので、働かなくてもよいと思う
11. 経済的には必要だと思うが、働かなくてもよいと思う
12. その他 ()

③ あなたは今後どのように働きたいですか。(○は1つだけ)

1. 正社員として働きたい
2. パート・アルバイトとして働きたい
3. 契約社員・嘱託社員として働きたい
4. 派遣社員として働きたい
5. 自営業をしたい
6. 特例子会社(※)で働きたい
7. その他()

→ 問22④へ

8. 年齢や今の状態、家庭の事情などで、一般企業・自営業などでは働けない
9. 働きたくない

→ 問23へ

※特例子会社… 障がいのある人の雇用の促進および安定を図るために、一般企業が障がいのある人の雇用に特別の配慮をして設立した子会社です。

④ 現在、仕事を探していますか。また、それはどのような方法ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークで紹介してもらう
2. 障害者就業・生活支援センターで紹介してもらう
3. 学校で紹介してもらう
4. 職業訓練を受けたところで紹介してもらう
5. 通所施設・作業所などで紹介してもらう
6. 障がい者団体などに紹介してもらう
7. 知人などに紹介してもらう
8. 家族に見つけてもらう
9. 求人雑誌や新聞の求人欄などを見て、自分で応募する
10. インターネットなどで求人情報を調べて、自分で応募する
11. 自分で仕事を始めたいと考えている
12. その他()
13. 仕事を探していない

あなたは、障がいのある人の就労を進めるために、どのようなことが必要だとおもいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤や移動手段の支援があること
2. 障がいのある人に配慮した設備などが整っていること
3. 勤務日数や時間に配慮があること
4. 在宅で働くことができること
5. 障がいの特性に合った職種・業務を増やすこと
6. 一般企業などで障がいのある人の雇用枠をもっと増やすこと
7. 職場に障がいのある人への理解があること
8. 職場において通院、リハビリなどへの配慮があること
9. 職場でのコミュニケーション支援、相談支援、介助者や援助者の派遣などがあること
10. 仕事で困ったとき、職場以外で相談にのってくれるところがあること
11. 障がいのある人同士が仕事の悩みを語り合ったり、ピアサポート（※）などによる支援があること
12. 仕事探しの相談窓口、情報提供などが充実していること
13. 職業訓練などの機会が充実していること
14. その他（ ）
15. わからない

※ピアサポート…障がいのある人やその家族が、同じような課題をもつ仲間（ピア）として、互いに悩みや情報を共有し、課題の軽減を目指して支え合う活動のことです。

4. 通院の状況などについて

問24 あなたは現在、どのくらい通院していますか。(○は1つだけ)

1. 月4回以上
2. 月2～3回程度
3. 月1回程度
4. 年4回以上
5. 年4回未満
6. 通院していない

問25 医療に関係することで、困っていることはありますか。(○は1つだけ)

1. 通院・入退院するときに手助けしてくれる人がいない
2. 専門的な治療を行う病院が身近にない
3. 専門的なリハビリを受けられる施設が身近にない
4. ちょっとした病気やけがのときに診てくれる病院が身近にない
5. 障がいが理由で治療を受けにくい診療科がある(例：歯科・整形外科など)
6. 往診を頼める医師がいない
7. 通院の負担が大きい(交通費など)
8. 医療費の負担が大きい
9. 医師、看護師とのコミュニケーションがとりにくい
10. 障がいの特性などを医師、看護師に理解してもらうことが難しい
11. その他()
12. 特に困っていない

5. 生活の不安、相談などについて

問26

現在の生活で困っていることや、不安に思っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 緊急時に相談できる窓口がない
2. 生活を支援してくれる人がいない
3. 一緒に暮らす人がいない
4. 働くところがない
5. お金が足りない
6. 趣味や生きがいが見つけれない
7. 生活をするうえで必要な情報が得られない
8. 自分の健康や体力に自信がない
9. 家族など介護者の健康が不安
10. 一緒に暮らしている家族との関係
11. 必要な時に診てくれる病院がない
12. 将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安
13. 生活に必要な福祉サービスなどが利用できない
14. その他 ()
15. 特に困っていることはない

問27

悩みや困ったことを相談するのはだれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚
2. 友だち・知り合い・近所の人
3. 同じ障がいや病気がある人
4. 保育所・幼稚園・認定こども園・学校
5. 職場
6. 病院・診療所 (医療相談)
7. サービスを利用しているところ (施設、作業所、事業所)
8. ホームヘルパー
9. 障がい者相談支援事業 (福祉センター1階)
10. 相談支援専門員 (※)
11. 市役所
12. 社会福祉協議会
13. 健康福祉事務所や保健センター
14. 民生委員・児童委員・福祉推進委員
15. 障がい者相談員 (※)
16. 障がい者団体
17. その他 ()
18. 相談する人はいない

※相談支援専門員…課題の解決や適切なサービス利用をするためのケアマネジメントにより、サービス等利用計画を作成する相談員のこと。

※障がい者相談員…障がいのある人やその家族における問題について、地域での相談・助言・指導などを行っている相談員のこと。

問28

あなたは、連絡や相談、情報を得るときや周囲の人とコミュニケーションをとるときに、どのような方法をよく使いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 電話（自宅などの固定電話）
2. 携帯電話・スマートフォン
3. 手話
4. 筆談
5. ファックス
6. 要約筆記
7. 点字
8. 音訳
9. ジェスチャー（身ぶり・手ぶり）
10. イラストや記号などを使った意思疎通
11. パソコン・スマートフォン・タブレット端末などのインターネット機能（メール、メッセージアプリ、SNS、情報検索など）
12. コミュニケーション支援者（代弁者）に頼む
13. その他（ ）

問29

あなたのことで、連絡や相談、情報を得るときや周囲の人とコミュニケーションをとるときに、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. どこに情報があるかわからない
2. 情報の内容がむずかしい
3. 音声データや点字などによる情報提供が少ない
4. パソコン・スマートフォンなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない
5. パソコン・スマートフォンなどを持っていないため、インターネットが利用できない
6. 手話やジェスチャー（身ぶり・手ぶり）を理解し、対応してくれる人が少ない
7. 指差しシートやコミュニケーションボードを設置しているところが少ない
8. コミュニケーションに時間がかかる、細かい部分が伝わらない
9. 手話通訳や要約筆記をしてくれる人が足りない
10. その他（ ）
11. 特にない

問32

あなたは次にあげる障がい福祉サービス等を利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑬のそれぞれについて、「現在の利用」、「今後3年以内の利用希望」について回答してください。)

※サービス等の内容がよくわからない時は、別紙にサービス等の説明を書いていますので、そちらも見てください。

	現在の利用 (○は1つだけ)		今後3年以内の利用希望 (○は1つだけ)				
	利用している	利用していない	(利用をはじめたい) 今よりも利用を増やしたい	今と同じくらい利用したい	今よりも利用を減らしたい	利用したくない	わからない
(例)居宅介護(ホームヘルプ)	①	2	1	②	3	4	5
① 居宅介護(ホームヘルプ)	1	2	1	2	3	4	5
② 重度訪問介護	1	2	1	2	3	4	5
③ 同行援護	1	2	1	2	3	4	5
④ 行動援護	1	2	1	2	3	4	5
⑤ 重度障害者等包括支援	1	2	1	2	3	4	5
⑥ 短期入所(ショートステイ)	1	2	1	2	3	4	5
⑦ 療養介護	1	2	1	2	3	4	5
⑧ 生活介護	1	2	1	2	3	4	5
⑨ 施設入所支援	1	2	1	2	3	4	5
⑩ 自立生活援助	1	2	1	2	3	4	5
⑪ 共同生活援助(グループホーム)	1	2	1	2	3	4	5
⑫ 自立訓練(機能訓練・生活訓練)	1	2	1	2	3	4	5
⑬ 就労移行支援	1	2	1	2	3	4	5

	現在の利用 (○は 1つだけ)		今後3年以内の利用希望 (○は1つだけ)				
	利用 している	利用 していない	(利用を はじめたい)	今 よりも 利用を 増や したい	今 と同じ くらい 利用 したい	今 よりも 利用を 減ら したい	利用 した くない
⑭ 就労継続支援 【A型：雇用型】	1	2	1	2	3	4	5
⑮ 就労継続支援 【B型：非雇用型】	1	2	1	2	3	4	5
⑯ 就労定着支援	1	2	1	2	3	4	5
⑰ 就労選択支援	1	2	1	2	3	4	5
⑱ 地域移行・地域定着支援	1	2	1	2	3	4	5
⑲ 計画相談支援	1	2	1	2	3	4	5
⑳ 意思疎通支援事業	1	2	1	2	3	4	5
㉑ 地域活動支援センター	1	2	1	2	3	4	5
㉒ 移動支援事業	1	2	1	2	3	4	5
㉓ 日中一時支援事業	1	2	1	2	3	4	5

とい
問35

おお じしん ふうすいがい お ばあい
大きな地震や風水害が起こった場合、どのようなことを不安に感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 身体しんたいの動きうごに制限せいげんがあり、自力じりきで安全あんぜんを確保かくほすることが難むずかしいこと
2. 支援しえんしてくれる人ひとや介助者かいじょしゃがいないこと
3. どこに避難ひなん（または安全あんぜんを確保かくほ）すればよいかわからないこと
4. 自分で判断じぶん はんだんして行動こうどうすることが難むずかしいこと
5. 災害時さいがいじに混乱こんらんしたり、パニックおを起こしてしまうこと
6. 周囲しゅういとコミュニケーションをとることができないこと
7. 災害さいがいに関する情報かん じょうほうが入手にゅうしゅできないこと
8. どこ（またはだれ）に助けたすを求めたらいいかわからないこと
9. 避難所ひなんじょなどでの集団生活しゅうだんせいかつや設備せつび（トイレなど）
10. 医療いりょう（投薬とうやくや治療ちりょう）が受けられないこと
11. 周囲しゅういに障がいしょうがいへの理解りかいがあるか
12. その他（)
13. 特とくにない

8. 障がいのある人に対する差別や虐待などについて

とい
問36

しょうがいしゃさべつかいしょうほう
「障害者差別解消法」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. まったく知らない

※「障害者差別解消法」は、行政機関等や事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく障がいを理由として差別することを禁止する法律です。

とい
問37

ごうりてきはいりょ
「合理的配慮」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. まったく知らない

※「合理的配慮」とは、障がいのある人から、困っているときに、その人の障がいに合った必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応することです。

とい
問38

これまで、障しょうがいがあることで差別さべつや偏見へんけんなどを受けたことがありますか。
(○は1つだけ)

1. よくある

2. ときどきある

3. ない

4. わからない

→ とい
問39 へ

→ とい
問40 へ

とい
問39

問38 で 1、2 のいずれかを選えらんだ方かたにお聞きします。どのような場所ばしょや場面ばめんで差別さべつなどを受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 保育所ほいくしょや幼稚園ようちえん、学校がっこうなどの対応たいおう

2. 行政機関ぎょうせいきかんの対応たいおう

3. 公共施設こうきょうしせつを利用りようするとき

4. お店みせの対応たいおう

5. 医療機関いりょうきかんの対応たいおう

6. 福祉施設ふくししせつや福祉サービス事業所ふくしサービスじぎょうしょの対応たいおう

7. 公共交通機関こうきょうこうつうきかんを利用りようするとき

8. 外出先がいしゅつさき・余暇よかを楽したのむとき

9. 職場しごとば

10. 仕事しごとを探さがしているとき

11. 近所きんじよづきあい

12. 地域ちいきのイベント・行事ぎやうじ

13. その他 ()

①

それは、どのような内容ないようでしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障しょうがいのない人ひとと異なること対応たいおうをされた

2. 無視むしされた、話はなしを聞いてもらえなかった

3. 入店にゅうてんや利用りようを断ことわられた

4. 嫌いやな言葉ことばを言いわれた

5. 手伝てつだってもらえなかった

6. 配慮はいりよを求めたが断ことわられた

7. わかりやすく説明せつめいしてもらえなかった

8. じろじろと見みられた

9. 必要ひつよう以上の支援いじょうや配慮はいりよを受けた

10. その他 ()

問40

地域や周囲の人の「障がい」や「障がいのある人」への理解を深め、差別や偏見をなくすためには、何が必要だと思えますか。(もっともあてはまるもの3つまでに○)

1. 広報紙やホームページでの啓発
2. 地域での講演会や学習会の開催
3. 学校や職場での障がい理解に関する教育
4. 障がいのある人とない人の交流の場
5. 福祉施設を地域住民が見学すること
6. 福祉ボランティアの育成
7. 外出支援や就労支援など、障がいのある人の社会参加の促進
8. スポーツや文化、サークル活動など、障がいのある人の活動のPR
9. 施設などのバリアフリー化を進めること
10. その他 ()

問41

「障害者虐待防止法」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. まったく知らない

※「障害者虐待防止法」は、障がいのある人に対する虐待の禁止、障がいのある人が虐待を受けた際の保護及び自立の支援のための措置、養護者に対する支援のための措置等を定めることにより、障がいのある人の権利利益を守ることを目的とした法律です。

問42

虐待を受けたり、受けている人を見つけた際の相談・通報先を知っていますか。
(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問43

「成年後見制度」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. まったく知らない

※「成年後見制度」は、病気や障がいによって判断能力が不十分な方が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立ててその方を援助してくれる人を選任してもらう制度です。

9. 地域社会とのかかわりについて

問44 あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。(○は1つだけ)

1. よく参加する
2. どちらかと言えば参加する
3. どちらかと言えば参加しない
4. 参加しない

問45 障がいのある人に対する地域の理解は進んできたと思いますか。(○は1つだけ)

1. かなり進んできた
2. まあまあ進んできた
3. どちらともいえない
4. あまり進んでいると思わない
5. 進んでいない
6. わからない

問46 あなたが自宅・地域で生活する(または、生活したいと思う)ためには、どのような条件が必要だと思いますか。(もっともあてはまるもの5つまでに○)

1. 生活に必要な支援やサービスをまとめて相談・利用できる窓口があること
2. 医療・介護・福祉の関係機関が連携して支えてくれること
3. 必要なときに介助や見守りを頼める人がいること
4. 緊急時(体調悪化・災害時など)に助けを求められる仕組みがあること
5. 安心して住み続けられる家があること
6. 近所の人や地域の人に見守られ、声をかけ合える関係があること
7. 地域に居場所や交流の場(サロン・作業所・地域活動など)があること
8. ボランティアや地域の活動に参加できる機会があること
9. 障がいのある人への理解が地域に広がっていること
10. お出かけや移動がしやすい環境(交通手段・バリアフリーなど)が整っていること
11. 就労や社会参加の機会があること
12. 経済的に安定した生活ができること
13. 自分の意見や希望を伝え、尊重してもらえること
14. 家族や信頼できる人と安心して関係を保てること
15. その他()
16. わからない

問47

地域の中では、住民同士の交流を深める活動をはじめ、様々な地域活動が行われています。地域活動に参加するために何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通所施設で地域活動が行われるなど、普段利用している場所で住民との交流の機会があること
2. 施設や地域のイベントで地域の人と交流し顔見知りになること
3. 地域で気軽に利用できる趣味の場（絵などの作品を制作できる場・スポーツができる場など）があること
4. 一緒に活動してくれる人がいること
5. 参加しやすい時間帯に活動が行われていること
6. 休日にも利用でき、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあること
7. 地域の余暇活動の情報を手軽に知ることができること
8. 自分の関心や得意なことを活かせる内容であること
9. 楽しそう・興味を持てる内容の活動であること
10. 地域活動に参加するときに、送迎や移動を支援する手段があること
11. 手話通訳やコミュニケーションボードによる意思の伝達など、意思疎通支援が地域活動に参加したときに受けられること
12. その他（)
13. 特にない

問48

地域の中では、住民同士の交流を深める活動をはじめ、様々な地域活動が行われています。次のうちあなたができそうなこと、協力できそうなことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の人たちの交流行事（運動会、防災訓練、夏祭りなど）に参加
2. 一人暮らし高齢者の話し相手・相談相手
3. 自分たちと同じ障がいのある人の話し相手・相談相手
4. 趣味や特技を生かした活動
5. 買い物やごみ出しの手伝い
6. 家の前や地域の清掃活動
7. 地域の子どもたちとの交流行事に参加
8. 通学時の子どもたちの見守り
9. 地域の防犯パトロールへの参加
10. 防災に関する活動
11. その他（)
12. 特にない

10. 芦屋市の取り組みについて

問49 芦屋市は、暮らしやすいまちですか。(○は1つだけ)

1. そう思う
2. まあそう思う
3. どちらでもない
4. あまり思わない
5. 思わない
6. わからない

問50 芦屋市が行っている各種障がい者施策に期待すること、重要だと思うことはなんですか。(もっともあてはまるもの5つまでに○)

1. 障がいに対する地域の理解を進めるための広報啓発活動を充実させる
2. 何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする
3. サービス利用の手続きを簡単にする
4. 市役所など公的機関からの福祉に関する情報をもっと多く、もっとわかりやすくする
5. 保健と福祉の専門的な人材を増やす支援をする
6. 参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす
7. いろいろなボランティア活動を増やす
8. 在宅での生活や介助がしやすいサービスを増やす
9. 障がいのある人が身近な地域で医療・リハビリが受けられる医療機関を充実させる
10. 障がいを早期に発見し次につなげる健診・相談・指導体制を充実させる
11. 障がいのある人の地域生活を支えるため、財産管理などを支援する権利擁護を推進する
12. 障がいがあってもなくても、ともに学べるような保育・教育内容をさらに推進する
13. 保育所・幼稚園・認定こども園などと小・中・高等学校などがつながり、本人の将来を考えた教育を支援する体制を充実させる
14. 子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を学校や施設等に引き継いでいく仕組みを充実させる
15. 障がいのある人の地域生活を住民同士が助け合い支援していく活動を増やす
16. 生活訓練のできる、通える施設を増やす
17. 仕事に就くための訓練や働く場を増やす
18. 障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる機会や場を増やす
19. 利用しやすいよう道路・建物などをバリアフリー化する
20. グループホームなどの住む場所を増やす
21. 災害時の避難体制を整える
22. 防犯対策を充実させる
23. 差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす
24. その他 ()

11. あなたの介護者について

問51 あなたを今、主に介護・介助している人はだれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 特に介護・介助の必要はない | 2. ホームヘルパーなど家族以外の人 |
| 3. 母親 | 4. 父親 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. 祖父母 |
| 7. 配偶者(夫または妻) | 8. 子ども |
| 9. 子どもの配偶者 | 10. その他() |

① 問51で3、4のいずれかを選んだ方にお聞きします。あなたは「親が病気や死亡等によって将来あなたを支えられなくなったとき」に、どこで生活しようと考えていますか。(○は1つだけ)

1. 家族(兄弟姉妹など)と一緒に自宅で生活する
2. 家族(兄弟姉妹など)と離れて一人で生活をする
3. 専門の職員がいて共同生活ができる施設(グループホームなど)を利用する
4. 入所施設で生活する
5. その他()
6. わからない

問52 問51で3～9(ご家族の介護者)のいずれかを選んだ方にお聞きします。主な介護者の年齢は何歳ですか。(数字を記入)

満

歳 ※令和8年1月1日現在

問53 問51で3～9(ご家族の介護者)のいずれかを選んだ方にお聞きします。主な介護者の健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

1. よい
2. ふつう
3. よくない

芦屋市 障がい福祉に関するアンケート調査への ご協力をお願い

皆様には日ごろから障がい福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。
今回、障がいのある人のより良い暮らしのため、アンケート調査を実施します。市民の
皆様の障がい福祉に関する意識、意向などを把握し、「(仮称)芦屋市障がい者(児)福祉
計画第8次中期計画および芦屋市第8期障がい福祉計画・芦屋市第4期障がい児福祉
計画」の策定や施策の推進に役立てていきたいと考えています。調査の趣旨をご理解
いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。(結果は後日ホームページで公表
予定です)

なお、この調査の対象者は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
をお持ちの方または障害児通所支援事業所をご利用の方から無作為に(くじ引きのような
方法で)選ばせていただきました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の
回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は、すべて統計的な処理を行い、計画策定および施策
推進のための基礎資料としてのみ使用いたします。個別の回答内容を公表することや別
の目的で回答内容を使うことは一切ありません。

れいわ ねん がつ あしやし
令和8年1月 芦屋市

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

芦屋市 子育て福祉部 福祉室 障がい福祉課
電話 0797-38-2043(直通) FAX 0797-38-2160
メールアドレス:syougaifukushi@city.ashiya.lg.jp

芦屋市 子育て福祉部 子ども家庭室 子ども政策課
電話 0797-38-2045(直通)
メールアドレス:kodomo@city.ashiya.lg.jp

※今回の調査は、株式会社日本都市計画研究所に事務などを委託しています。

(ウラ面に「回答・ご提出のお願い」を書いていますので見てください)



かいとう ていしゅつ ねが 回答・ご提出のお願い

- ◆この調査票は、障がいのある18歳未満のお子さんに関する内容をおたずねするものです。
- ◆保護者の方にご記入いただきますが、可能な範囲でお子さんの思いや意見を聞きながらご回答ください。
- ◆「インターネット」か「紙」か、どちらかで答えてください。

■ 「紙」(この封筒に入っている調査票)で答える

- ✓ あなたの名前を書かなくて構いません。
- ✓ 質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ✓ 記入欄には、具体的にその内容を書いてください。
- ✓ 答えたくないことには無理に答えなくてもかまいません。
- ✓ この封筒に入っている「返信用の封筒」で送ってください。

■ 「インターネット」で答える

- ✓ 右の二次元コードを読み取ってください。
回答用のページにつながります。



- ✓ 二次元コードが読み取れない場合は、以下のURLを入力してください。回答用のページにつながります。

URL : <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/ashiyashougai2/under18/>

- ✓ 回答用のページにつながったら、最初に、このIDとパスワードを入力してください。

貼り付け箇所

※インターネットが使えるスマートフォン・パソコン・タブレット端末などからアクセスできます。

※アクセスは無料ですが、データ通信料が別途かかりますのでご注意ください。

※通信環境の良いところでご回答ください。

- ◆回答で困ったことがあれば、芦屋市障がい福祉課までご連絡ください。
- ◆IDは無作為に(くじ引きのような方法で)決めています。IDはインターネットと紙での回答のどちらか一方になっているかを確認するためのものです。IDではあなたが誰かはわかりません。

れいわ ねん がつ にち か
令和8年2月3日(火)までに、アンケートに回答してください。

芦屋市 障がい福祉に関するアンケート調査

※これ以降、この調査票が送られた宛名の方を「お子さん」とお呼びしますので、お子さん（この調査票の対象者）の状況などについて、お答えください。

※可能な範囲で回答してください。

1. お子さんご自身のことについて

問1 お子さんの性別を書いてください。(○は1つだけ)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えたくない

問2 現在のお子さんの年齢を書いてください。(数字を記入)

満 歳 ※令和8年1月1日現在

問3 お子さんが持っている「障がい者手帳」についてお答えください。

① お子さんは、身体障がい者手帳を持っていますか。(○は1つだけ)

1. 1級を持っている
2. 2級を持っている
3. 3級を持っている
4. 4級を持っている
5. 5級を持っている
6. 6級を持っている
7. 持っていない

② 身体障がい者手帳を持っている場合、障がいの内容をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚障がい
2. 聴覚障がい、平衡機能障がい
3. 音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい
4. 肢体不自由
5. 内部障がい(1~4以外の障がい)

③ お子さんは療育手帳を持っていますか。(○は1つだけ)

1. A(重度)を持っている
2. B1(中度)を持っている
3. B2(軽度)を持っている
4. 持っていない

④ お子さんは精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。(○は1つだけ)

1. 1級を持っている
2. 2級を持っている
3. 3級を持っている
4. 持っていない

問4

お子さんは、次のような障がいの診断などを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自立支援医療(精神通院医療)を受給している
2. 発達障がい(自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)、学習障がいなど)と診断されている
3. 高次脳機能障がいと診断されている
4. 指定難病と診断されている
5. いずれにもあてはまらない

問5

お子さんの障がいや発達の特徴に気づいたきっかけはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病院などの医療機関による受診
2. 保健センターで実施する健診
3. 保育所・幼稚園・認定こども園等での助言
4. 学校での助言
5. 家族による気づき
6. その他()

問6

お子さんの障がいや発達の特徴に気づき、すぐに医療機関や市、保健センターなどの専門機関に相談しましたか。(○は1つだけ)

1. 1か月以内に相談した
2. 1か月以内に相談しなかったが、1年以上には相談した
3. 1年以上相談しなかった

問7

問6で2、3を選んだ方にお聞きします。すぐに相談できなかった理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 重要なこととは思わなかった(支障を感じなかった)
2. もうすこし様子をみようと思った
3. 相談先がわからなかった
4. 仕事などで忙しかった
5. お子さんが嫌がった
6. 家族や親戚が嫌がった
7. 相談先が混んでいた
8. その他()

2. お子さんの現在の生活のことについて

問8

お子さんが、今現在生活している場所はどこですか。

(○は1つだけ)

1. 家族と一緒に生活 → 問9へ

2. 共同生活できる施設で生活 → 問10へ

3. その他 ()

問9

問8で1を選んだ方にお聞きします。お子さんが以下のことをするとき、だれの支援を受けていますか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

	自分でできる	家族や親戚	ホームヘルパー	ボランティア	近所の人 友だち・知り合い・	施設の職員
(例) 食事をするとき	1	2	3	4	5	6
① 食事をするとき(料理、配膳、片づけなどは含みません)	1	2	3	4	5	6
② 薬を飲んだり保管するとき	1	2	3	4	5	6
③ お風呂に入る・トイレを使うとき	1	2	3	4	5	6
④ 着替えをするとき	1	2	3	4	5	6
⑤ 料理・掃除・洗濯をするとき	1	2	3	4	5	6
⑥ 出かけるとき(通学、通院や買い物など)	1	2	3	4	5	6
⑦ 自分の考えを伝えたいとき	1	2	3	4	5	6
⑧ 生活費など、お金の管理をするとき	1	2	3	4	5	6
⑨ 日常の暮らしに必要な手続きをするとき	1	2	3	4	5	6
⑩ 地震や台風など、緊急時に避難・連絡したいとき	1	2	3	4	5	6

問10

将来的には、お子さんはどのような場所で生活をしたいと思いますか。
(○は1つだけ)

1. 家族(親・兄弟姉妹)と一緒に自宅で生活したい(もしくは、お子さんがそれを将来希望すると思う)
2. 家族(親・兄弟姉妹)と離れて一人で生活がしたい(もしくは、お子さんがそれを将来希望すると思う)
3. 専門の職員がいて共同生活ができる施設(グループホームなど)を利用したい(もしくは、お子さんがそれを将来希望すると思う)
4. 入所施設で生活したい(もしくは、お子さんがそれを将来希望すると思う)
5. その他()
6. わからない

問11

お子さんが通園・通学、通所や通院以外で「外に出たい」と思うのは、どのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚と出かけるとき
2. 友人・知人と出かけるとき
3. 買い物をするとき
4. スポーツや趣味の活動をするとき
5. 地域の行事等に参加するとき
6. その他()
7. 外出したいと思わない

問12

お子さんが出かけるとき、何で移動しますか(通学、通所、通院も含む)。
(もっともあてはまるもの5つまでに○)

1. 徒歩
2. 車いす、電動車いす
3. 自転車、電動自転車、バイク
4. 家族などが運転する自動車
5. 学校、病院、施設などの送迎車
6. 介護タクシー
7. 介護タクシー以外のタクシー
8. 籠車
9. バス
10. その他()

としい
問13

お子さんが出かけるときに、困ったり、心配になったりすることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. バスや鉄道などが利用しにくい（路線がない、バスの便が少ない、乗降が難しいなど）
2. バスや鉄道などの乗り方の表示や建物への案内表示がわかりにくい
3. 交通費などの費用負担が大きい
4. 障がいのある人用の駐車場がない、または少ない
5. 歩道に問題が多い（せまい、障がい物が多い、誘導ブロックがないなど）
6. 建物の設備が利用しにくい（階段、トイレなど）
7. 休憩できる場所が少ない（身近な公園や歩道のベンチなど）
8. 介助者の支援がないと外出できない（介助者を頼むと利用料を負担しなければならない）
9. 介助者やヘルパーの確保が難しい（いつでも必要なときに頼むことが出来ない）
10. 周りの人の目が気になる
11. 発作など突然の身体の変化が心配
12. 困った時にどうすればいいのか、だれに聞いたらいいのかわからないので心配
13. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとったりすることが難しい
14. その他（)
15. 特にない
16. 外出したいと思わない

3. 教育・保育や通所支援などについて

問14 現在、お子さんが在籍している学校などはどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 幼稚園、保育所、認定こども園 | 2. 小学校（義務教育学校前期課程を含む） |
| 3. 中学校（義務教育学校後期課程を含む） | 4. 高等学校（全日制・定時制） |
| 5. 特別支援学校 | 6. 専修学校 |
| 7. 1～6以外の学校など（ ） | |
| 8. 定期的な教育・保育を利用していない（在宅） | |

問15 現在在籍している学校など（在宅含む）の次の進路（進学や就職、その他）について、どのようなことを望まれますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 幼稚園、保育所、認定こども園への通園 | 2. 小・中学校（通常学級）へ進学 |
| 3. 小・中学校（特別支援学級）へ進学 | 4. 高等学校へ進学 |
| 5. 特別支援学校（小・中・高等部）へ進学 | 6. 専門学校へ進学 |
| 7. 大学・短期大学へ進学 | 8. 一般企業・事業所への就職 |
| 9. 共同生活できる施設へ入所する | 10. 在宅で過ごす |
| 11. その他（ ） | 12. わからない |

問16 「障がい児通所支援」を利用していますか。(○は1つだけ)

※サービスの内容がよくわからない時は、別紙にサービスの説明を書いていますので、そちらも見てください。

- | | |
|-------------------|---------|
| 1. 児童発達支援（※） | → 問17 へ |
| 2. 放課後等デイサービス（※） | → 問17 へ |
| 3. 居宅訪問型児童発達支援（※） | → 問20 へ |
| 4. 利用していない | → 問19 へ |

問17 問16 で1、2のいずれかを選んだ方にお聞きします。主に利用している児童発達支援や放課後等デイサービスは楽しいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|------------|-------------------|
| 1. 楽しい | 2. まあまあ楽しい | → 問20 へ |
| 3. あまり楽しくない | 4. 楽しくない | → 問18 に答えた後、問20 へ |

問18

問17で3、4のいずれかを選んだ方にお聞きします。児童発達支援や放課後等デイサービスが楽しくない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 好きな活動がない | 2. 仲の良いお友達がいない |
| 3. 好きな先生がいない | 4. 何をすればよいのか分かりにくいときがある |
| 5. 嫌なことをされる | 6. 家から遠い |
| 7. 場所(部屋や建物)が落ち着かない | 8. その他() |

問19

問16で4を選んだ方にお聞きします。「障がい児通所支援を利用していない理由」はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 通いたい事業所がない | 2. 事業所を知らない |
| 3. 必要性を感じない | 4. だれに相談したらよいかわからない |
| 5. 制度(サービス内容や手続きなど)を知らない | 6. 手続きがむずかしい |
| 7. 利用料の負担が大きい | 8. その他() |
| 9. 利用する必要がない | |

問20

お子さんが将来18歳になり、「障がい児通所支援」の利用が終了になった後、日中をどのように過ごしてほしいですか。(○は1つだけ)

1. 一般就労(企業などで雇用されること)してほしい
2. 福祉的就労(障がい福祉サービスの就労)してほしい
3. 障がいのある人のための通所サービス(生活介護)などを利用してほしい
4. 大学・専門学校に進学してほしい
5. 職業訓練校に通ってほしい
6. 家庭内で過ごしてほしい
7. その他()

お子さんの保育や教育について、今後、特にどのようなことが必要だと思えますか。現在通われていない方は、これまでのご経験からお答えください。(〇は1つだけ)

1. インクルーシブ教育・保育(※)の充実
2. 周囲の児童・生徒、保護者の障がいへの理解
3. 教員などの指導力の向上や障がいへの理解
4. 障がいのある児童・生徒の個々の状況に合わせた指導内容やカリキュラム
5. 障がいのある児童・生徒に配慮した学校設備などの充実
6. 通園、通学への配慮(送迎など)
7. 進路指導や職業教育の充実(自立して働ける力の育成)
8. 療育機関や支援学校(学級)に関する情報の提供
9. 保育・教育・福祉の各機関の連携
10. 「障がい児通所支援(児童発達支援、放課後等デイサービスなど)」の充実
11. 「障がい児入所支援」の充実
12. 必要なときに一時的に利用できる日中一時支援事業の充実
13. コミュニケーション力や身辺処理(※)など日常生活スキルの向上支援
14. 学校以外での学習に対する支援
15. 療育を行う施設の増設
16. 休日などに一緒に活動できる仲間や施設
17. 放課後や長期休暇中に利用できるサービスの充実
18. その他()
19. 特に必要ない
20. わからない

※インクルーシブ教育・保育…障がいの有無にかかわらず、だれもが望めば自分に合った配慮を受けながら、みんなと一緒に学ぶことができること。

※身辺処理…自分の持ち物や生活スペースを片付けるなどして整理すること。

4. 通院の状況などについて

問23 お子さんは現在、どのくらい通院していますか。(○は1つだけ)

1. 月4回以上
2. 月2～3回程度
3. 月1回程度
4. 年4回以上
5. 年4回未満
6. 通院していない

問24 医療に関係することで、困っていることはありますか。(○は1つだけ)

1. 通院・入退院するときに手助けしてくれる人がいない
2. 専門的な治療を行う病院が身近にない
3. 専門的なリハビリを受けられる施設が身近にない
4. ちょっとした病気やけがのときに診てくれる病院が身近にない
5. 障がいが理由で治療を受けにくい診療科がある(例：歯科・整形外科など)
6. 往診を頼める医師がいない
7. 通院の負担が大きい(交通費など)
8. 医療費の負担が大きい
9. 医師、看護師とのコミュニケーションがとりにくい
10. 障がいの特性などを医師、看護師に理解してもらうことがむずかしい
11. 年齢によってこれまで診てもらっていた病院を変更しなければいけない
12. その他 ()
13. 特に困っていない

5. 生活の不安、相談などについて

問25

お子さんや保護者の方が、現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 緊急時に相談できる窓口がないこと
2. 生活を支援してくれる人がいないこと
3. 一緒に暮らす人がいないこと
4. 働くところがないこと
5. お金が足りないこと
6. 趣味や生きがいが見つけれないこと
7. 生活に必要な情報が得られないこと
8. お子さんの健康や体力に自信がないこと
9. 家族など介護者の健康のこと
10. 一緒に暮らしている家族との関係のこと
11. 必要な時に診てくれる病院がないこと
12. 将来的に生活する住まい、または施設が見つからないこと
13. 生活に必要な福祉サービスなどが利用できないこと
14. その他 ()
15. 特に困っていることはない

問26

悩みや困ったことを相談するのはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚
2. 友だち・知り合い・近所の人
3. 同じ障がいや病気のある人
4. 保育所・幼稚園・認定こども園・学校
5. 職場
6. 病院・診療所 (医療相談)
7. サービスを利用しているところ (施設、作業所、事業所)
8. ホームヘルパー
9. 障がい者相談支援事業 (福祉センター1階)
10. 相談支援専門員 (※)
11. 市役所
12. 社会福祉協議会
13. 健康福祉事務所や保健センター
14. 民生委員・児童委員・福祉推進委員
15. 障がい者相談員 (※)
16. 障がい者団体
17. その他 ()
18. 相談する人はいない

※相談支援専門員…課題の解決や適切なサービス利用をするためのケアマネジメントにより、サービス等利用計画を作成する相談員のこと。

※障がい者相談員…障がいのある人やその家族における問題について、地域での相談・助言・指導などを行っている相談員のこと。

問27

お子さんは、連絡や相談、情報を得るときや周囲の人とコミュニケーションをとるときに、どのような方法をよく使いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 電話 (自宅などの固定電話)
2. 携帯電話・スマートフォン
3. 手話
4. 筆談
5. ファックス
6. 要約筆記
7. 点字
8. 音訳
9. ジェスチャー (身ぶり・手ぶり)
10. イラストや記号などを使った意思疎通
11. パソコン・スマートフォン・タブレット端末などのインターネット機能 (メール、メッセージアプリ、SNS、情報検索など)
12. コミュニケーション支援者 (代弁者) に頼む
13. その他 ()

問28

お子さんのことで、連絡や相談、情報を得るときや周囲の人とコミュニケーションをとるときに、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. どこに情報があるかわからない
2. 情報の内容がむずかしい
3. 音声データなどによる情報提供が少ない
4. パソコン・スマートフォンなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない
5. パソコン・スマートフォンなどを持っていないため、インターネットが利用できない
6. 手話やジェスチャー (身ぶり・手ぶり) を理解し、対応してくれる人が少ない
7. 指差しシートやコミュニケーションボードを設置しているところが少ない
8. コミュニケーションに時間がかかる、細かい部分が伝わらない
9. 手話通訳や要約筆記をしてくれる人が足りない
10. その他 ()
11. 特にない

とい
問29

ちいき せいかつ ふくし かん じょうほう え
地域での生活や福祉サービスに関する情報を、どこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚
2. 友だち・知り合い・近所の人
3. 同じ障がいや病気がある人
4. 保育所・幼稚園・認定こども園・学校
5. 職場
6. 病院・診療所（医療相談）
7. サービスを利用しているところ
（施設、作業所、事業所）
8. ホームヘルパー
9. 障がい者相談支援事業（福祉センター1階）
10. 市の広報紙
11. 市のホームページ
12. 市の公式SNS
13. 市役所の相談窓口
14. 障がい福祉のしおり
15. 芦屋市障がい福祉ポータルサイト「あしや
ねっと♪」
16. 社会福祉協議会
17. 健康福祉事務所や保健センター
18. 民生委員・児童委員・福祉推進委員
19. 障がい者相談員（※）
20. 障がい者団体
21. その他（ ）

※ 障がい者相談員…障がいのある人やその家族における問題について、地域での相談・助言・指導などを行っている相談員のこと。

6. 障がい福祉サービス等の利用について

とい
問30

こ しょう ふくし しょう じしえんくがんにんてい
お子さんは、障がい福祉サービスを利用するための障がい児支援区分の認定を
受けていますか。(○は1つだけ)

1. 区分1
2. 区分2
3. 区分3
4. 区分なし

問31

おこさんは障がいがい福ふく祉しサさーさビびスす等らをを利り用ようしていますか。また、今こん後ご利り用ようしたい
とと考かんえがすか。(①から⑭のそれぞれについて、「現げん在ざいの利り用よう」、「今こん後ご3年以内の利り用よう希き望ぼう」について回かい答とうしてください。

※サさーさビびスす等らのない容ようがよくわからない時ときは、別べつ紙しにサさーさビびスす等らのせつ明めいをかきていますので、そそちちららもみてください。

	現 <small>げん</small> 在 <small>ざい</small> の利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> (○は1つだけ)		今 <small>こん</small> 後 <small>ご</small> 3年以内の利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> 希 <small>き</small> 望 <small>ぼう</small> (○は1つだけ)				
	利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> し <small>て</small> い <small>る</small>	利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> し <small>て</small> い <small>な</small> い	(利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> を <small>は</small> じ <small>め</small> た <small>い</small>) 今 <small>いま</small> よ <small>り</small> も利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> を <small>ぞ</small> う <small>や</small> し <small>た</small> い	今 <small>いま</small> と <small>お</small> な <small>な</small> じ <small>う</small> ら <small>い</small> 利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> し <small>た</small> い	今 <small>いま</small> よ <small>り</small> も利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> を <small>へ</small> ら <small>し</small> た <small>い</small>	利 <small>り</small> 用 <small>よう</small> し <small>た</small> く <small>な</small> い	わ <small>わ</small> か <small>ら</small> な <small>い</small>
(例) 居 <small>い</small> 宅 <small>たく</small> 介 <small>かい</small> 護 <small>ご</small> (ホ <small>ほ</small> ー <small>ま</small> ヘ <small>ル</small> プ)	①	2	1	②	3	4	5
① 居 <small>い</small> 宅 <small>たく</small> 介 <small>かい</small> 護 <small>ご</small> (ホ <small>ほ</small> ー <small>ま</small> ヘ <small>ル</small> プ)	1	2	1	2	3	4	5
② 同 <small>どう</small> 行 <small>こう</small> 援 <small>えん</small> 護 <small>ご</small>	1	2	1	2	3	4	5
③ 行 <small>こう</small> 動 <small>どう</small> 援 <small>えん</small> 護 <small>ご</small>	1	2	1	2	3	4	5
④ 重 <small>じゅう</small> 度 <small>ど</small> 障 <small>しょう</small> 害 <small>がい</small> 者 <small>しゃ</small> 等 <small>ら</small> 包 <small>ほう</small> 括 <small>かつ</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small>	1	2	1	2	3	4	5
⑤ 短 <small>たん</small> 期 <small>き</small> 入 <small>にゅう</small> 所 <small>じょ</small> (シ <small>し</small> ョ <small>ョ</small> ー <small>と</small> ス <small>ス</small> テ <small>イ</small>)	1	2	1	2	3	4	5
⑥ 児 <small>じ</small> 童 <small>どう</small> 発 <small>はつ</small> 達 <small>たつ</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small>	1	2	1	2	3	4	5
⑦ 放 <small>ほう</small> 課 <small>か</small> 後 <small>ご</small> 等 <small>ら</small> デ <small>で</small> イ <small>い</small> サ <small>さ</small> ー <small>さ</small> ビ <small>び</small> ス	1	2	1	2	3	4	5
⑧ 保 <small>ほ</small> 育 <small>いく</small> 所 <small>じょ</small> 等 <small>ら</small> 訪 <small>ほう</small> 問 <small>もん</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small>	1	2	1	2	3	4	5
⑨ 居 <small>き</small> 宅 <small>たく</small> 訪 <small>ほう</small> 問 <small>もん</small> 型 <small>がた</small> 児 <small>じ</small> 童 <small>どう</small> 発 <small>はつ</small> 達 <small>たつ</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small>	1	2	1	2	3	4	5
⑩ 計 <small>けい</small> 画 <small>かく</small> 相 <small>さう</small> 談 <small>だん</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small> ・障 <small>しょう</small> 害 <small>がい</small> 児 <small>じ</small> 相 <small>さう</small> 談 <small>だん</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small>	1	2	1	2	3	4	5
⑪ 意 <small>い</small> 思 <small>し</small> 疎 <small>そ</small> 通 <small>つう</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small> 事 <small>じ</small> 業 <small>ぎょう</small>	1	2	1	2	3	4	5
⑫ 地 <small>ち</small> 域 <small>いき</small> 活 <small>かつ</small> 動 <small>どう</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small> セ <small>ン</small> タ <small>ー</small>	1	2	1	2	3	4	5
⑬ 移 <small>い</small> 動 <small>どう</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small> 事 <small>じ</small> 業 <small>ぎょう</small>	1	2	1	2	3	4	5
⑭ 日 <small>にっ</small> 中 <small>ちゅう</small> 一 <small>いち</small> 時 <small>じ</small> 支 <small>し</small> 援 <small>えん</small> 事 <small>じ</small> 業 <small>ぎょう</small>	1	2	1	2	3	4	5

あしやしにある以下い か まどぐち きかん じぎょうの窓口や機関、事業などについて知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障がい者相談支援事業（福祉センター1階）
2. 障がい者相談員（※）の相談
3. 権利擁護支援センター・障がい者虐待防止センター（福祉センター1階）
4. 障がい児機能訓練事業（福祉センター1階）
5. 障がい者・障がい児水浴訓練室開放事業（福祉センター1階）
6. 障がい者歯科診療（福祉センター1階 歯科センター）
7. 特別支援教育センター（福祉センター3階）
8. サポートファイル
9. 芦屋市障がい福祉ポータルサイト「あしやねっと♪」
10. まるっと説明会
11. 芦屋市みんなにやさしいお店
12. どれも知らない

※障がい者相談員…障がいのある人やその家族における問題について、地域での相談・助言・指導などを行っている相談員のこと。

7. 災害時や緊急時の対応について

とい
問33

さいがいに きんきゅうじ ひなん さい こ てだす ひと
災害時や緊急時に避難する際、お子さんを手助けしてくれる人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. かぞく しんぞく 家族・親族
2. きんじよ ひと 近所の人
3. ゆうじん ちじん 友人・知人
4. じちかり ひと 自治会の人
5. みんせいいいん じどういいん 民生委員・児童委員
6. その他 ()
7. てだす ひと 手助けしてくれる人はいない

とい
問34

おお じしん ふうすいがい お ばあい かあん かん
大きな地震や風水害が起こった場合、どのようなことを不安に感じますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. しんたい うご せいげん あり じりき あんぜん かくほ することが むずか
身体の動きに制限があり、自力で安全を確保することが難しいこと
2. しえん ひと かいじょしゃ いないこと
支援してくれる人や介助者がいないこと
3. どこに ひなん (または あんぜん かくほ) すればよいかわからないこと
どこに避難(または安全を確保)すればよいかわからないこと
4. じぶん はんだん こうどう することが むずか
自分で判断して行動することが難しいこと
5. さいがいに こんらん したり、パニックを おこして しまうこと
災害時に混乱したり、パニックを起こしてしまうこと
6. じゅうい と コミュニケーションをとることができないこと
周囲とコミュニケーションをとることができないこと
7. さいがい かん じょうほう にゅうしゅ できないこと
災害に関する情報が入手できないこと
8. どこ (またはだれ) に 助けを 求めて よいか わからないこと
どこ(またはだれ)に助けを求めてよいかわからないこと
9. ひなんじよ などの じゅうだんせいかつ せつび (トイレなど)
避難所などでの集団生活や設備(トイレなど)
10. いりようケア (とうやく や ちりよう) が うけられないこと
医療ケア(投薬や治療)が受けられないこと
11. じゅうい しよう がいへの りかい があるか
周囲に障がいへの理解があるか
12. その他 ()
13. とくに ない

8. 障がいのある人に対する差別や虐待などについて

問35 「障害者差別解消法」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている 2. 聞いたことがある 3. まったく知らない

※「障害者差別解消法」は、行政機関等や事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく障がいを理由として差別することを禁止する法律です。

問36 「合理的配慮」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている 2. 聞いたことがある 3. まったく知らない

※「合理的配慮」とは、障がいのある人から、困っているときに、その人の障がいに合った必要な工夫ややり方を伝えられた場合、負担が重すぎない範囲で対応することです。

問37 これまで、障がいがあることで差別や偏見などを受けたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある |
| 3. ない | 4. わからない |

→ 問38へ

→ 問39へ

問38 問37で1、2のいずれかを選んだ方にお聞きします。どのような場所や場面で差別などを受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 保育所や幼稚園、学校などの対応 | 2. 行政機関の対応 |
| 3. 公共施設を利用するとき | 4. お店の対応 |
| 5. 医療機関の対応 | 6. 福祉施設や福祉サービス事業所の対応 |
| 7. 公共交通機関を利用するとき | 8. 外出先・余暇を楽しむとき |
| 9. 近所づきあい | 10. 地域のイベント・行事 |
| 11. その他 () | |

① それは、どのような内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. お子さんだけ違う対応をされた | 2. 無視された、話を聞いてもらえなかった |
| 3. 入店や利用を断られた | 4. 嫌な言葉を言われた |
| 5. 手伝わってもらえなかった | 6. 配慮を求めたが断られた |
| 7. わかりやすく説明してもらえなかった | 8. じろじろと見られた |
| 9. 必要以上の支援や配慮を受けた | 10. その他 () |

問39

地域や周囲の人の「障がい」や「障がいのある人」への理解を深め、差別や偏見をなくすためには、何が必要だと思いますか。(もっともあてはまるもの3つまでに○)

1. 広報紙やホームページでの啓発
2. 地域での講演会や学習会の開催
3. 学校や職場での障がい理解に関する教育
4. 障がいのある人とない人の交流の場
5. 福祉施設を地域住民が見学すること
6. 福祉ボランティアの育成
7. 外出支援や就労支援など、障がいのある人の社会参加の促進
8. スポーツや文化、サークル活動など、障がいのある人の活動のPR
9. 施設などのバリアフリー化を進めること
10. その他 ()

問40

「障害者虐待防止法」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. まったく知らない

※「障害者虐待防止法」は、障がいのある人に対する虐待の禁止、障がいのある人が虐待を受けた際の保護及び自立の支援のための措置、養護者に対する支援のための措置等を定めることにより、障がいのある人の権利利益を守ることを目的とした法律です。

問41

虐待を受けたり、受けている人を見つけた際の相談・通報先を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問42

「成年後見制度」(※)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. まったく知らない

※「成年後見制度」は、病気や障がいによって判断能力が不十分な方が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立ててその方を援助してくれる人を選任してもらう制度です。

9. 地域社会とのかかわりについて

問43 お子さんは、地域の行事や活動に参加していますか。(○は1つだけ)

1. よく参加する
2. どちらかと言えば参加する
3. どちらかと言えば参加しない
4. 参加しない

問44 障がいのある人に対する地域の理解は進んできたと思いますか。(○は1つだけ)

1. かなり進んできた
2. まあまあ進んできた
3. どちらともいえない
4. あまり進んでいると思わない
5. 進んでいない
6. わからない

問45 お子さんが自宅・地域で生活する(または、生活したいと思う)ためには、どのような条件が必要だと思いますか。(もっともあてはまるもの5つまでに○)

1. 生活に必要な支援やサービスをまとめて相談・利用できる窓口があること
2. 医療・介護・福祉の関係機関が連携して支えてくれること
3. 必要なときに介助や見守りを頼める人がいること
4. 緊急時(体調悪化・災害時など)に助けを求められる仕組みがあること
5. 安心して住み続けられる家があること
6. 近所の人や地域の人に見守られ、声をかけ合える関係があること
7. 地域に居場所や交流の場(サロン・作業所・地域活動など)があること
8. ボランティアや地域の活動に参加できる機会があること
9. 障がいのある人への理解が地域に広がっていること
10. お出かけや移動がしやすい環境(交通手段・バリアフリーなど)が整っていること
11. 就労や社会参加の機会があること
12. 経済的に安定した生活ができること
13. 自分の意見や希望を伝え、尊重してもらえること
14. 家族や信頼できる人と安心して関係を保てること
15. その他()
16. わからない

問46

ちいき なか じゅうみんどうし こうりゅう ふか かつどう さまざま ちいきかつどう おこな
地域の中では、住民同士の交流を深める活動をはじめ、様々な地域活動が行
われています。ちいきかつどう さんか なに ひつよう おも
地域活動に参加するために何が重要だと思いますか。(あてはま
るものすべてに○)

1. 交通施設で地域活動が行われるなど、普段利用している場所で住民との交流の機会があること
2. 施設や地域のイベントで地域の人と交流し顔見知りになること
3. 地域で気軽に利用できる趣味の場（絵などの作品を制作できる場・スポーツができる場など）があること
4. 一緒に活動してくれる人がいること
5. 参加しやすい時間帯に活動が行われていること
6. 休日にも利用でき、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあること
7. 地域の余暇活動の情報を手軽に知ることができること
8. 自分の関心や得意なことを活かせる内容であること
9. 楽しそう・興味を持てる内容の活動であること
10. 地域活動に参加するときに、送迎や移動を支援する手段があること
11. 手話通訳やコミュニケーションボードによる意思の伝達など、意思疎通支援が地域活動に参加したときに受けられること
12. その他（ ）
13. 特にない

10. 芦屋市の取り組みについて

問47

あしやし く
芦屋市は、暮らしやすいまちですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. わからない |

芦屋市が行っている各種障がい児施策に期待すること、重要だと思うことは
 何ですか。(もっともあてはまるもの5つまでに○)

1. 障がいに対する地域の理解を進めるための広報啓発活動を充実させる
2. 何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする
3. サービス利用の手続きを簡単にする
4. 市役所など公的機関からの福祉に関する情報をもっと多く、もっとわかりやすくする
5. 保健と福祉の専門的な人材を増やす支援をする
6. 参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす
7. いろいろなボランティア活動を増やす
8. 在宅での生活や介助がしやすいサービスを増やす
9. 障がいのある人が身近な地域で医療・リハビリが受けられる医療機関を充実させる
10. 障がいを早期に発見し次につなげる健診・相談・指導体制を充実させる
11. 障がいのある人の地域生活を支えるため、財産管理などを支援する権利擁護を推進する
12. 障がいがあってもなくても、ともに学べるような保育・教育内容をさらに推進する
13. 保育所・幼稚園・認定こども園などと小・中・高等学校などがつながり、本人の将来を考えた教育を支援する体制を充実させる
14. 子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を学校や施設等に引き継いでいく仕組みを充実させる
15. 障がいのある人の地域生活を住民同士が助け合い支援していく活動を増やす
16. 生活訓練のできる、通える施設を増やす
17. 仕事に就くための訓練や働く場を増やす
18. 障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる機会や場を増やす
19. 利用しやすいよう道路・建物などをバリアフリー化する
20. グループホームなどの住む場所を増やす
21. 災害時の避難体制を整える
22. 防犯対策を充実させる
23. 差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす
24. その他 ()

11. お子さんの介護者について

問49 お子さんを今、主に介護・介助している人はどなたですか。(○は1つだけ)

1. 特に介護・介助の必要はない
2. ホームヘルパーなど家族以外の人
3. 母親
4. 父親
5. 兄弟姉妹
6. 祖父母
7. その他 ()

① 問49で3、4のいずれかを選んだ方にお聞きします。「親が病気や死亡等によって将来お子さんを支えられなくなったとき」に、どこで生活できたらいいと考えていますか。(○は1つだけ)

1. 家族(兄弟姉妹など)と一緒に自宅で生活できたらいい
2. 家族(兄弟姉妹など)と離れて一人で生活できたらいい
3. 専門の職員がいて共同生活ができる施設を利用できたらいい
4. 入所施設で生活できたらいい
5. その他 ()
6. わからない

問50 問49で3～6(ご家族の介護者)のいずれかを選んだ方にお聞きします。主な介護者の年齢は何歳ですか。(数字を記入)

まん

さい

※令和8年1月1日現在

問51 問49で3～6(ご家族の介護者)のいずれかを選んだ方にお聞きします。主な介護者の健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

1. よい
2. ふつう
3. よくない

